

## オープニング 力レッジ

ふるさと納税制度は、自治体への寄付金のうち2千円を超えた金額を「寄付金控除」として翌年に納める。住民税から差し引く制度で、寄付を受けた自治体から特産品がもらえるとして、昨年は約395万人が利用した。

高額返礼品などさまざま問題が発生し、賛否両論の議論が行われ、大幅な見直しが行われたけれども、他方で全国各地のさまざまな产品を発掘し、これまで全国に商品を販売する力の

## 地方からのマーケティング(5)

ンドの問題点と地方产品的優れた点を見直すことで、特徴のある地域产品が大きなマーケティング投資をして、とても田舎の产品を販売することができるようになつた。

平松食品は、「つくだ煮」のメーカーである。「つくだ煮」といえば、東京や大阪の老舗メーカーの名前が思ひ浮かび、「三河つくだ煮」という名前を知っている人は少ないのではないか。

平松食品は1922(大正11)年の創業で、豊川市に本社を置いている。平松賢介社長は、その3代目で、1987年に平松食品に入

り込んだ。愛知県は自動車メーカーの工場の集積地というイメージがあるが、農業や水産業でも全国で有数の生産地である。それにもかかわらずそのイメージが薄いのは、「ブランド化」が下手なためと考えられる。

世界食品品評会(モンドセレクション)で、その製品のいくつかが「金賞」を受賞し、日本の食文化を世界に発信している。2006年以降、台湾や中国、シンガポール、アメリカ、EUなどの海外の国際食品見本市に出展し、海外の百貨店での販売も行っている。

平松食品は、愛知の特産の魚貝を生かしながら、東京や大阪の老舗「つくだ煮」メーカーとは異なる独自のづくりの優位も取り入れながら、近代的な食品メーカーとして成長しつつあ



福山女学園大学  
現代マネジメント学部教授  
角田 隆太郎

なかつた地方中小企業にコストパフォーマンスにすぐれたマーケティングツールを与えたという点で大きな成果を上げたということができる。消費者が全国グラ

## 地域产品が脚光浴びる

### ふるさと納税により

つのだ・りゅうたろう マーケティング戦略論。神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得後退学。

愛知県内のメーカーが製造する「つくだ煮」は、

例えば、三河湾はフグの漁獲では全国でも有数であるにもかかわらず、県内では値がつかないために、わざわざ下関の市場に運ばれている。

「つくだ煮」は、

「さんま蒲焼」や「いわし甘露煮」のように魚介類を用いたものが特徴である。

豊橋は戦時中軍都であり、軍向けの大量の需要があつた。さらに戦後量販店が台頭してきたことから、供給能力のある豊橋の「つくだ煮」メーカーが成長し、「三河つくだ煮」と呼ばれるようになった。平松食品の「つくだ煮」は、豊橋市のふるさと納税の返礼品にも採用されている。

平松食品は、2000年にHACCP対応の御津工場を竣(しゅん)工させ、伝統の技術と最先端の技術や情報を融合させ、高品質で安全なマネジメントシステムを導入することによって、安全で安心なおいしさを創造し、東京や大阪とは異なる「三河つくだ煮」のメーカーとして独自の道を歩んでいる。